



Optimal Biz

Mac OS クライアント リファレンスマニュアル

最終更新日 2024 年 10 月 20 日
(Web サイト ver.9.22.0)
株式会社オプティム

はじめに

本マニュアルでは、Optimal Biz（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解の上、マニュアルをお読みください。

名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。

記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

不明な用語は、以下を参照してください。

 [『よくあるご質問 \(FAQ\)』](#)

免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が「管理者」のユーザーを対象としています。「管理者」以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

登録商標

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

1 Mac OS クライアントについて.....	5
1.1 概要	6
1.2 OS サポートポリシー	7
1.3 動作環境	7
2 MDM 構成プロファイルについて	8
2.1 MDM プロファイルをアンインストールする	9
2.1.1 macOS 13 未満の場合	9
2.1.2 macOS 13～14 の場合	13
2.1.3 macOS 15 以上の場合	16
3 ポータルの使用方法.....	19
3.1 機器情報を登録する	20
4 エージェントの使用方法.....	22
4.1 メニュー画面の表示内容	23
4.2 アクセス制御を行う	23
4.3 エージェントをアップデートする	24
4.4 エージェントの認証を解除する	25

1 Mac OS クライアントについて

この章では、製品の概要や動作環境などを説明します。

1.1 概要

本製品は、専門の知識を必要とせずに、機器の管理・運用を行うサポートサービスです。管理サイトから端末のリモートロックやリモートワイプ（初期化）を行うことができます。Mac OS 端末にアプリ「Optimal Biz エージェント（以下、エージェントと呼ぶ）」をインストールすることもできます。

 管理サイトの操作については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』

本製品で行えること

本製品は、MDM 構成プロファイル、ポータル、エージェントを使用して、Mac OS 端末を管理します。

◆MDM 構成プロファイル

MDM 構成プロファイルとは、Mac OS 端末の構成を制御するファイルです。

本製品を利用するには、MDM 構成プロファイルのライセンスを認証する必要があります。以下を参照して、MDM 構成プロファイルのライセンスを認証してください。

 『Mac OS キットニングマニュアル』の「ライセンス認証」

MDM 構成プロファイルで行えることは、以下のとおりです。

●定期的に Mac OS 端末の情報を取得して、管理サイトに送信する。

 管理サイトに送信されるネットワークの情報は、Mac OS 端末に標準搭載されているネットワークカードの情報のみです。

●定期的に管理サイトからの設定を取得して、Mac OS 端末に設定する。

●管理サイトからリモート操作の指示を受けて、Mac OS 端末を操作する。

 MDM 構成プロファイルについては、以下を参照してください。

 「MDM 構成プロファイルについて」8 ページ

◆ポータル

ポータルとは、Web クリップです。アイコンをタップするとブラウザでポータルホーム画面が表示されます。

ポータルのアイコンは、MDM 構成プロファイルのライセンス認証を行うと、Mac OS 端末の Dock（画面の下または横に表示されるアイコンが並んだバー）に表示されます。

管理サイトと同期するたびに、ポータルは再インストールされます。

ポータルでは、機器情報の登録／変更を行います。

 ポータルの使用方法については、以下を参照してください。

 「ポータルの使用方法」19 ページ

◆エージェント

エージェントとは、MDM 構成プロファイルのライセンス認証を行ったあと、App Store からインストール／認証して使用するアプリです。Mac OS 端末のステータスバーにエージェントのアイコンが表示されます。以下を参照して、エージェントのインストール／認証を行ってください。

 『Mac OS キットニングマニュアル』の「エージェント認証」

エージェントでは、アクセス制御を行います。

 エージェントの使用方法は、以下を参照してください。

 「エージェントの使用方法」22 ページ

1.2 OS サポートポリシー

本製品では、確実な製品の動作とセキュリティ機能の提供を目的として、以下の OS サポートポリシーを定めています。

- 本製品の最新対応 OS より 3 世代前の OS メジャーバージョンまでをサポート。
- 最新対応 OS 追加に伴い、サポート対象外となった OS バージョンについては、サポート期限が切れた日から 1 年間に限り、お問い合わせには可能な限り対応いたします。ただし、動作保証や不具合対応はいたしません。
-  定期的の下位の OS バージョンのサポートを終了します。サポート対象外となる OS や端末を利用している場合は、OS アップデートまたは機種の変更をしてください。

サポート対象	● macOS 15：最新対応 OS ● macOS 14：1 世代前 ● macOS 13：2 世代前 ● macOS 12：3 世代前  macOS 11.0～11.4 のサポートは終了しました。問い合わせには 2025 年 9 月 16 日まで可能な限り対応します。
--------	---

1.3 動作環境

 エージェントのリリース日から 180 日間は、180 日間にリリースされたすべてのエージェントがサポートされます。ただし、リリース日から 180 日を超えた場合は、180 日以降最初にリリースされたエージェントから 2 つ前のエージェントまでが、サポートの対象になります。

 日本国内でのみ利用が可能です。

対応 OS	macOS 12 macOS 13 macOS 14 macOS 15  macOS Server は非対応。
-------	---

2 MDM 構成プロファイルについて

この章では、MDM 構成プロファイルのアンインストールについて説明します。

2.1 MDM プロファイルをアンインストールする

macOS のバージョンにより操作が異なります。端末で使用している macOS のバージョンに応じて、いずれかの方法を選択してください。

● macOS 13 未満の場合

● macOS 13~14 の場合

● macOS 15 以上の場合

🔧 管理者の指示、または許可をとってからアンインストールしてください

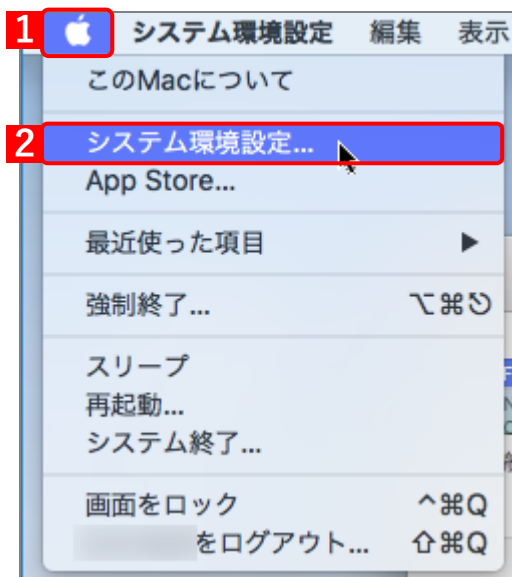
🔧 エージェントを認証している場合は、先にエージェントの認証を解除してください。

🔗 「エージェントの認証を解除する」25 ページ

2.1.1 macOS 13 未満の場合

[1] 画面左上の  をクリックします。

[2] 「システム環境設定」をクリックします。



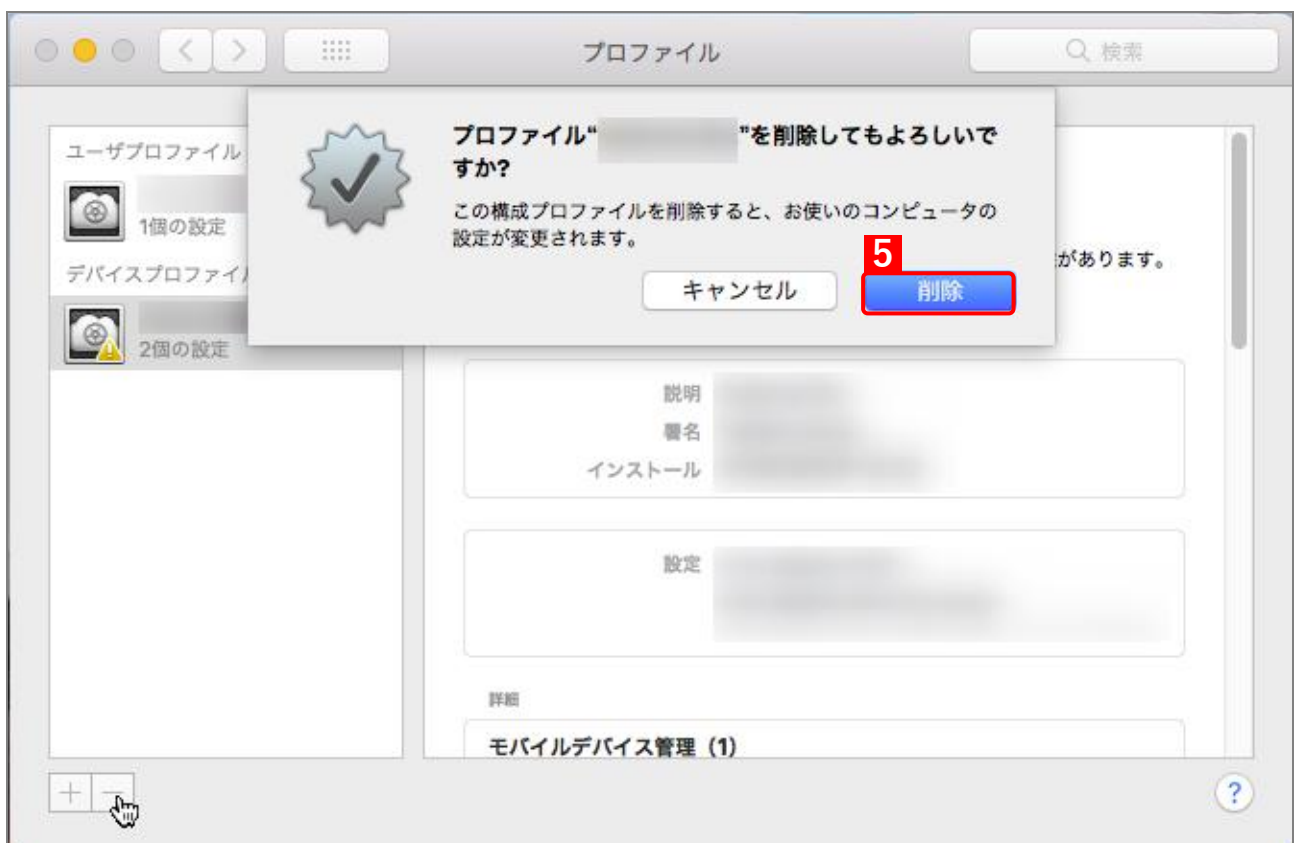
【3】 「システム環境設定」 から 「プロファイル」 をクリックします。

⇒ どの構成プロファイルもインストールしていない場合は、「システム環境設定」の「プロファイル」パネルは使用できません。



【4】 プロファイル一覧から対象のプロファイルを選択し、 をクリックします。

⇒ 確認画面が表示されます。

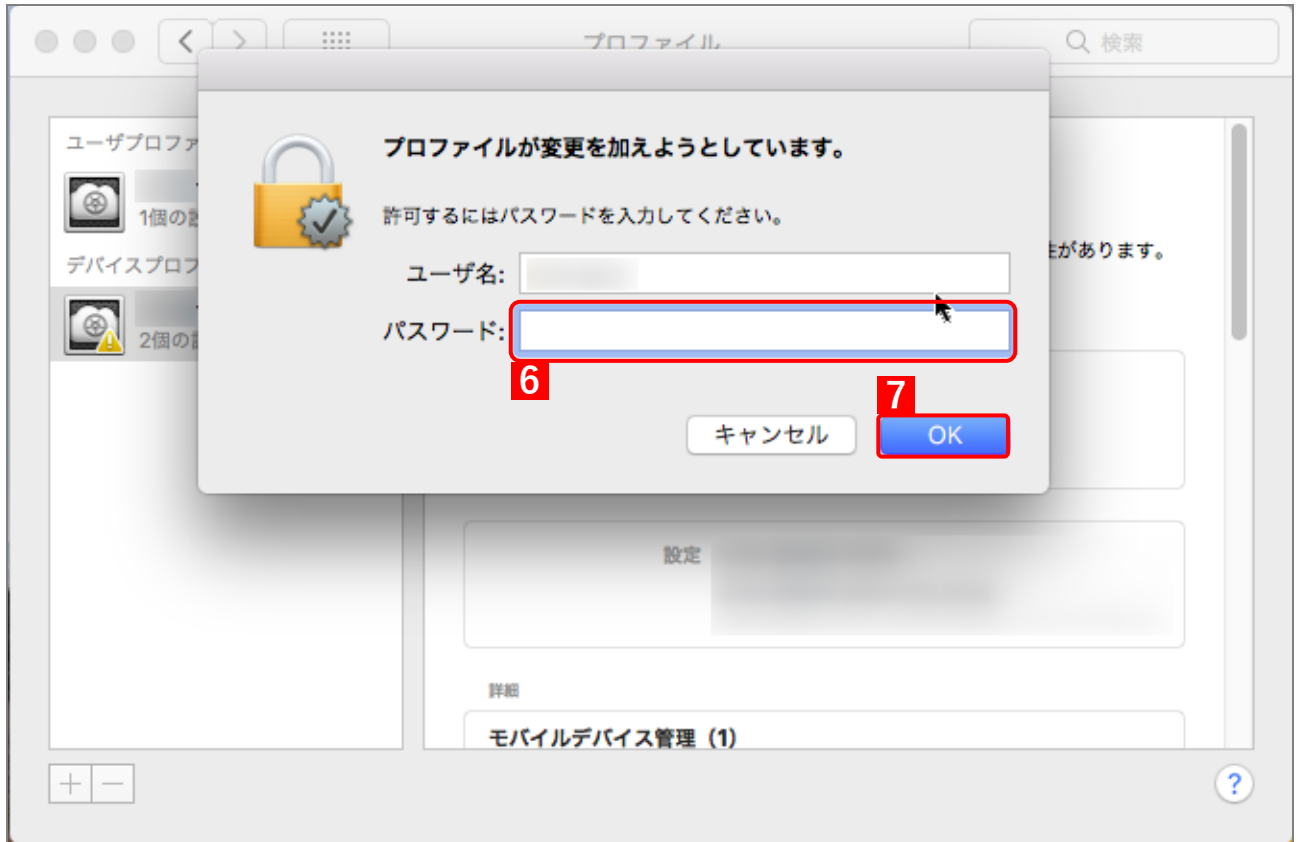
**【5】** [削除] をクリックします。

【6】 パスワードを入力します。

【7】 [OK] をクリックします。

⇒ プロファイルがアンインストールされます。

✎ システム環境設定によって、本画面が表示されない場合もあります。



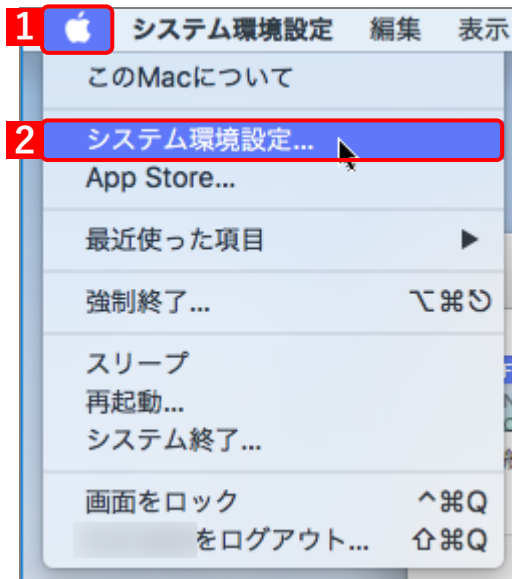
【8】 Dock へ登録している場合は、Dock のポータルアイコンを削除してください。

✎ Mac OS 端末からプロファイルをアンインストールしても、Dock のポータルアイコンは自動で削除されません。



2.1.2 macOS 13~14 の場合

- [1] 画面左上の  をクリックします。
- [2] 「システム環境設定」をクリックします。

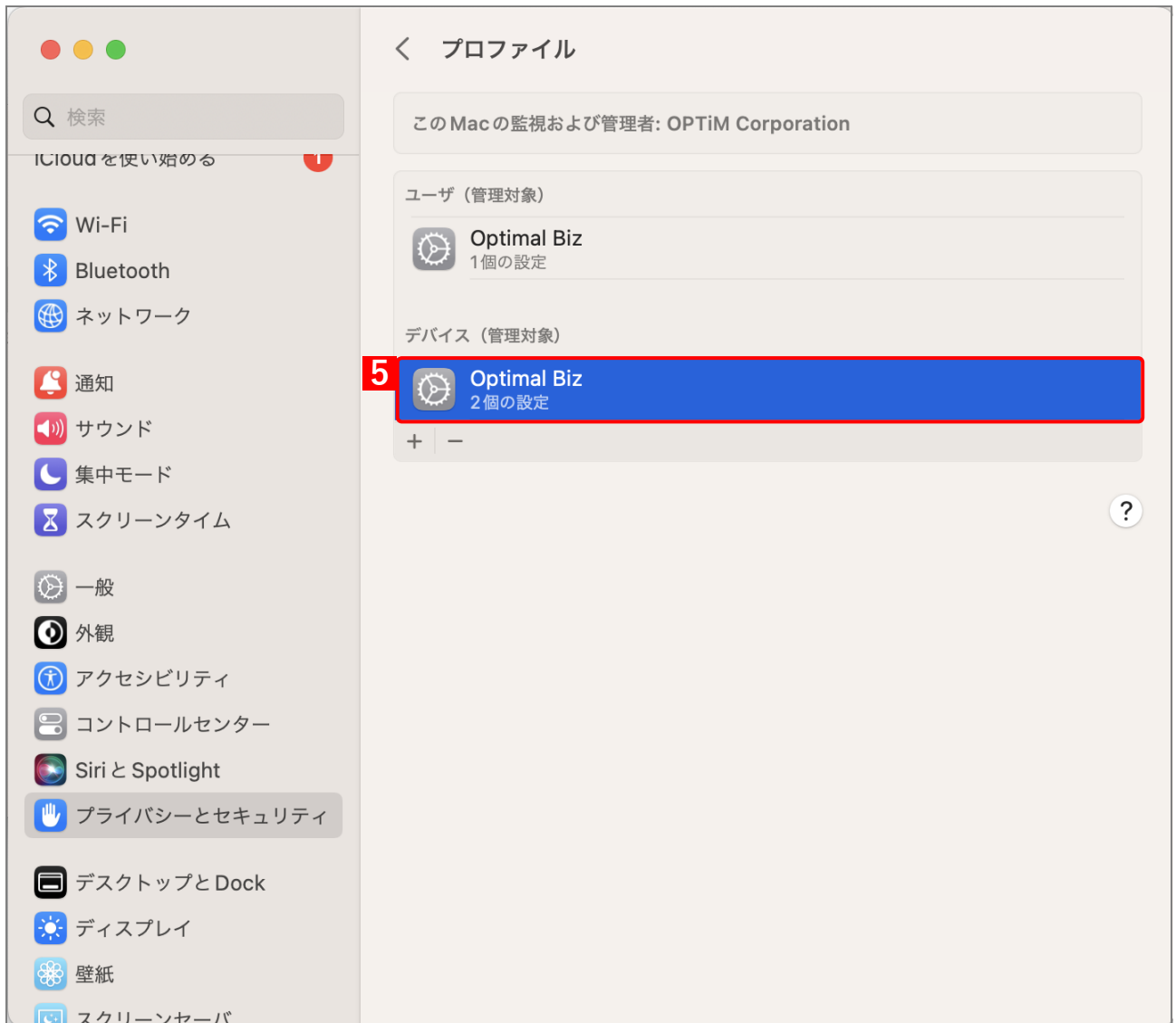


- [3] 「システム環境設定」の「プライバシーとセキュリティ」をクリックします。
- [4] 「プロファイル」をクリックします。



【5】 プロファイル一覧から、対象のプロファイルを選択します。

⇒ 確認画面が表示されます。

**【6】** [削除] をクリックします。

【7】 パスワードを入力します。

【8】 [登録解除] をクリックします。

⇒ プロファイルがアンインストールされます。

✎ システム環境設定によって、本画面が表示されない場合もあります。



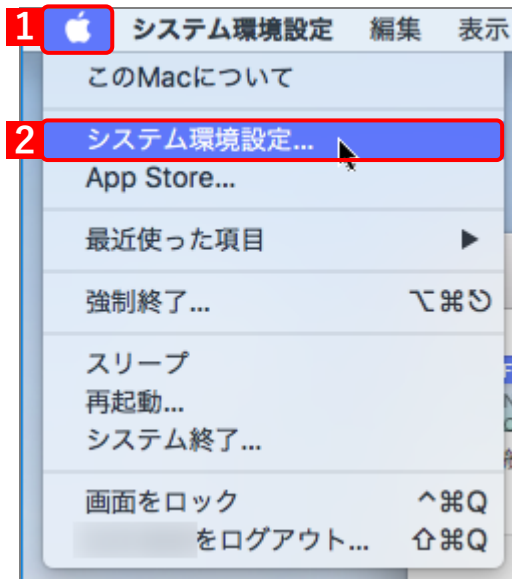
【9】 Dock へ登録している場合は、Dock のポータルアイコンを削除してください。

✎ Mac OS 端末からプロファイルをアンインストールしても、Dock のポータルアイコンは自動で削除されません。



2.1.3 macOS 15 以上の場合

- 【1】 画面左上の  をクリックします。
- 【2】 「システム環境設定」をクリックします。

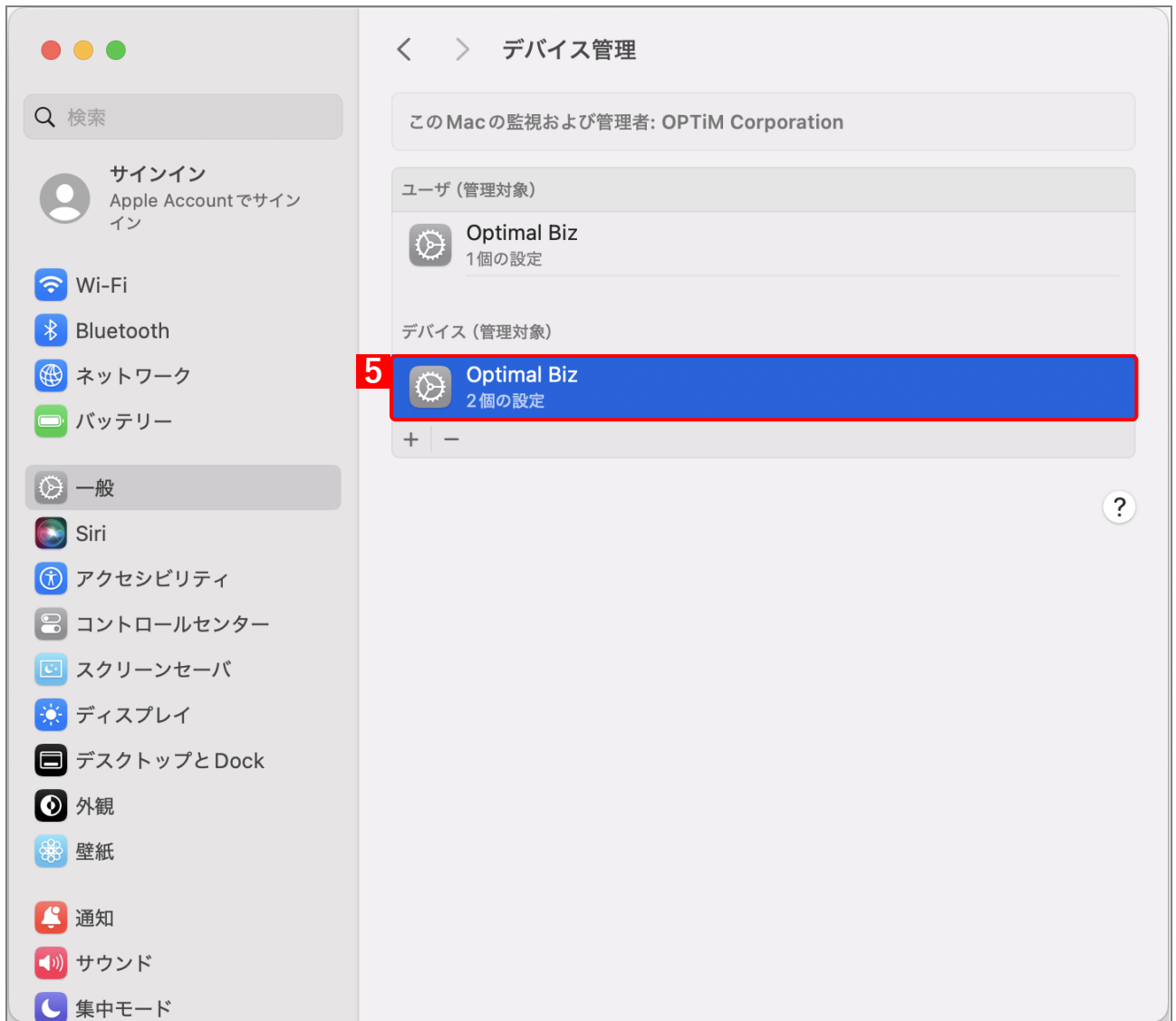


- 【3】 「システム環境設定」の「一般」をクリックします。
- 【4】 「デバイス管理」をクリックします。



【5】 プロファイル一覧から、対象のプロファイルを選択します。

⇒ 確認画面が表示されます。

**【6】** [削除] をクリックします。

【7】 パスワードを入力します。

【8】 [登録解除] をクリックします。

⇒ プロファイルがアンインストールされます。

✎ システム環境設定によって、本画面が表示されない場合もあります。



【9】 Dock へ登録している場合は、Dock のポータルアイコンを削除してください。

✎ Mac OS 端末からプロファイルをアンインストールしても、Dock のポータルアイコンは自動で削除されません。



3 ポータルの使用方法

この章では、ポータルの使用方法について説明します。



注意

- 管理サイトで、Mac OS ポータルを表示に設定してください。



『管理サイト リファレンスマニュアル』の「サービス環境設定」－「ポータル表示」

3.1 機器情報を登録する

以下の場合、機器情報の登録を行ってください。

- ライセンスを認証したときに、機器情報の登録を行わなかった場合
- 設定している機器情報を変更したい場合

管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目の追加を行うと、「機器情報登録」画面に表示され、リストからの選択や直接入力で、端末情報の登録や変更を行うことができます。

- ☑ あらかじめ、管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で入力項目を追加してください。追加するとき、「機器から入力可」にチェックを入れてください。チェックが入っていない場合は、項目が表示されません。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「入力項目のカスタマイズ」

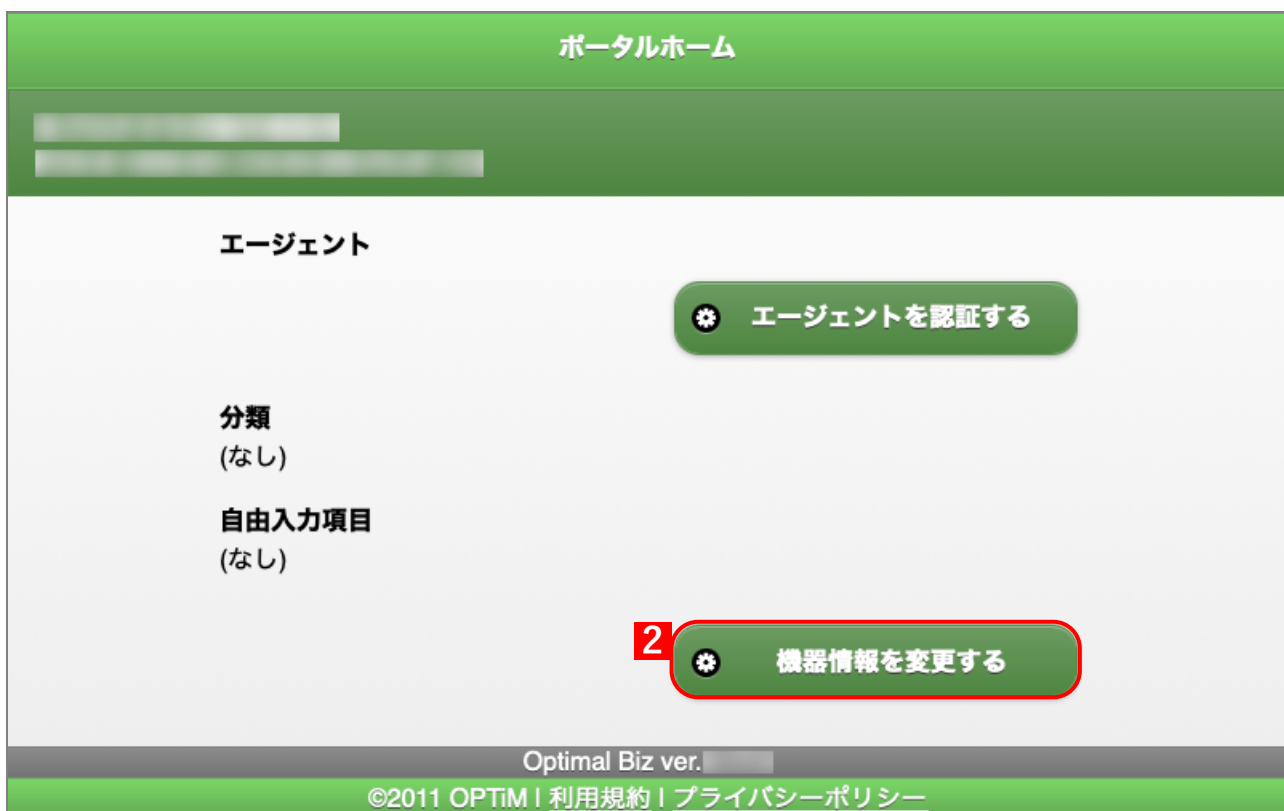
- ☑ 管理サイトの「入力項目のカスタマイズ」で設定した内容により、画面に表示される「分類」と「自由入力項目」の内容が異なります。

- 【1】 Dock（画面の下または横に表示されるアイコンが並んだバー）上の「ポータル」をクリックします。**

⇒ ブラウザーでポータルホーム画面が表示されます。



- 【2】 「機器情報を変更する」をクリックします。**



- 【3】 必要事項を選択、入力します。
 - 【4】 [登録する] をクリックします。
- ⇒機器情報の登録が完了します。

機器情報登録

機器情報登録

3 分類

(未分類)

自由入力項目

戻る 4 登録する

Optimal Biz ver. ©2011 OPTIM | [利用規約](#) | [プライバシーポリシー](#)

- 【5】 [OK] をクリックします。
- 🔗 ブラウザーを閉じてください。

機器情報登録

機器情報登録が完了しました。

分類

自由入力項目

5 OK

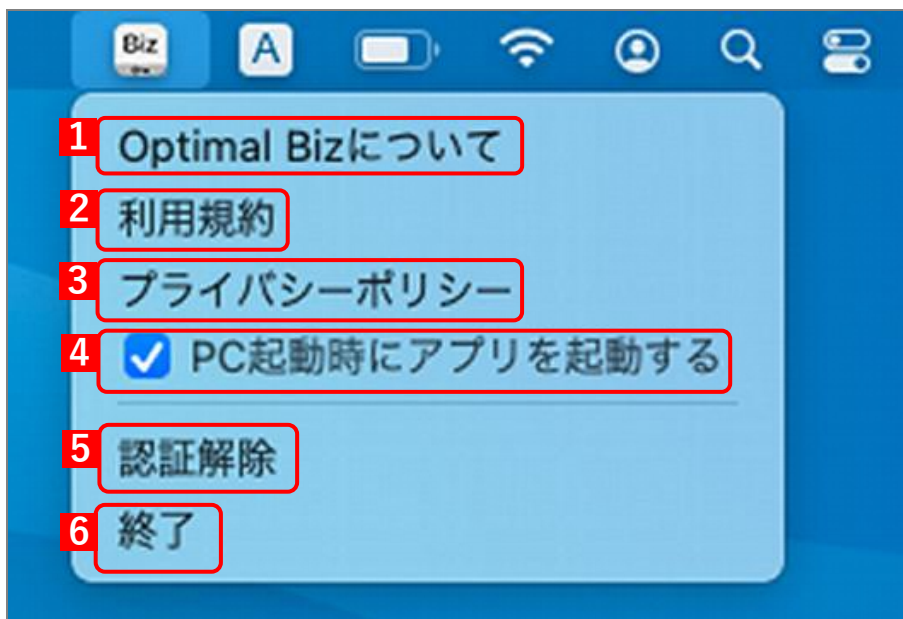
Optimal Biz ver. ©2011 OPTIM | [利用規約](#) | [プライバシーポリシー](#)

4 エージェントの使用方法

この章では、エージェントの使用方法について説明します。

4.1 メニュー画面の表示内容

エージェントメニューを表示して、各種の項目やプライバシーポリシーの表示、エージェントの解除などを行います。エージェントメニューは、ステータスバーのアイコンをクリックして表示します。



項番	項目	説明
1	Optimal Biz について	以下の項目が確認できます。 ●エージェントバージョン ●コミットハッシュ値 ●機器名 ●通信日時
2	利用規約	ブラウザーで利用規約を表示します。
3	プライバシーポリシー	ブラウザーでプライバシーポリシーを表示します。
4	PC 起動時にアプリを起動する	チェックを入れると、端末起動時に自動的にアプリが起動します。
5	認証解除	エージェントの認証を解除します。詳細は、以下を参照してください。  「エージェントの認証を解除する」 25 ページ
6	終了	エージェントを終了します。

4.2 アクセス制御を行う

エージェント認証済みの端末のみ、特定のアプリへログインできるように設定できます。

エージェントでアクセス制御を行うには、OPTiM ID+のオプション契約が必要です。

詳細については、管理者にお問い合わせください。

4.3 エージェントをアップデートする

✎ エージェントバージョンは、メニュー画面で確認してください。

📖 「メニュー画面の表示内容」 23 ページ

【1】 ブラウザーで App Store を開き、Optimal Biz を検索します。

【2】 App Store のアップデート手順に従い、アップデートを行ってください。

⇒ キーチェーンログインのパスワードを要求されるポップアップ画面が表示されます。

【3】 パスワードを入力します。

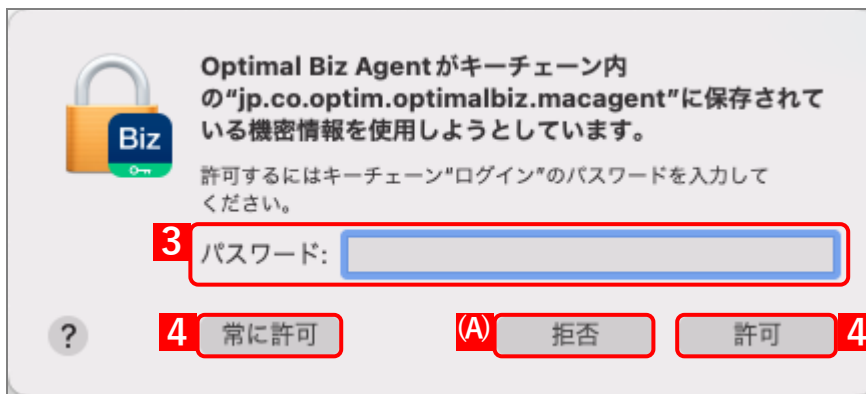
✎ Mac OS 端末を起動するときのパスワードです。

【4】 [許可] または [常に許可] をクリックします。

✎ ポップアップ画面は複数回繰り返し表示されます。表示されなくなるまで、手順【3】【4】の操作を行ってください。

✎ 操作を誤って1度でも (A) [拒否] をクリックした場合は、エージェントの認証が解除されます。ポップアップ画面が表示されなくなると、エージェントの認証画面が表示されますので、再度、エージェントの認証を行ってください。

🔍 『Mac OS キットニングマニュアル』の「エージェント認証」

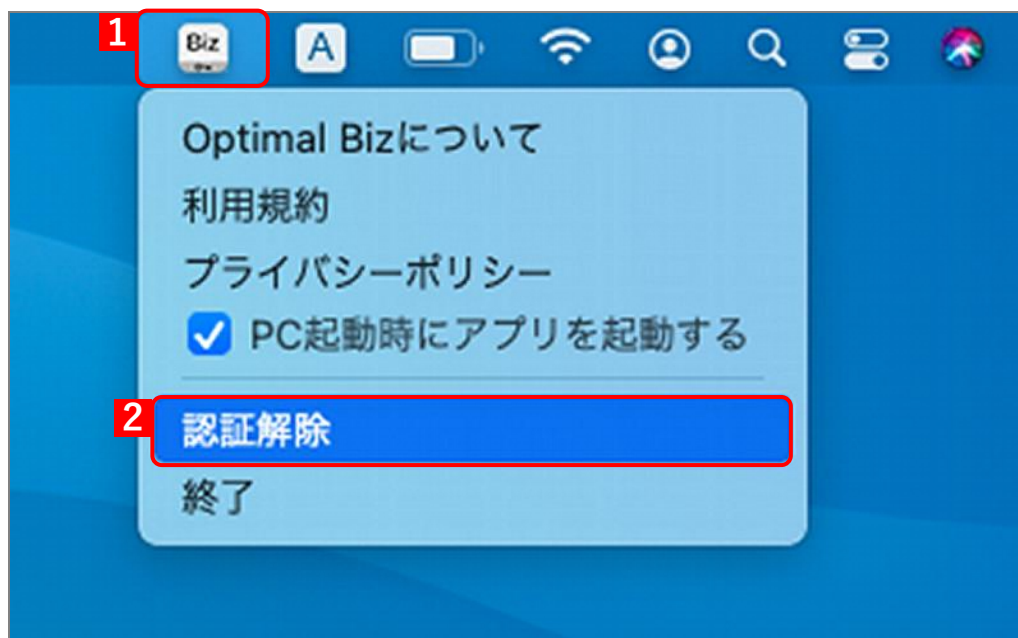


4.4 エージェントの認証を解除する

【1】 メニューバーに表示されている Biz をクリックします。

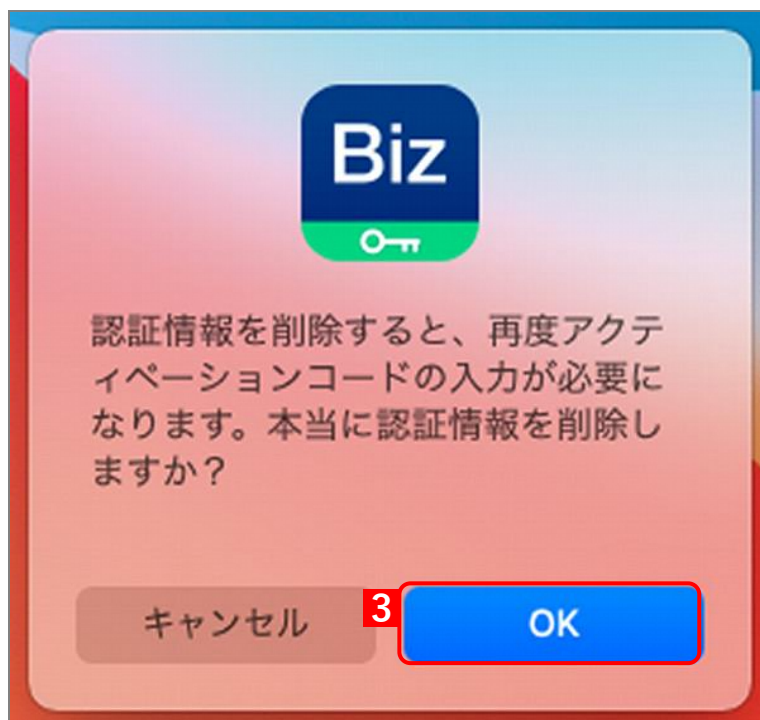
【2】 [認証解除] をクリックします。

⇒ 認証解除の確認画面が表示されます。



【3】 [OK] をクリックします。

⇒ 認証が解除され、再度、認証画面が表示されます。



【4】 をクリックして、画面を閉じます。

 メニューバーに表示されていたアイコンは表示されなくなります。

